

# 留学セミナー

## 「グローバル化時代の アメリカ理工系大学院留学」



学部生、大学院生、教職員の方の参加も大歓迎。  
米国トップ大学の教育・研究環境の情報も参考になります。

日時 2月28日(火) 13:30~15:00

場所 名古屋大学 ES総合館 2階 021教室

主催/共催

- ・文部科学省/日本学術振興会「世界展開力強化事業」名古屋大学工学研究科・採択プロジェクト
- ・米国大学院学生会 (<http://gakuiryugaku.net/>)
- ・名古屋大学留学生センター

講演 倉林活夫先生

- ・米国大学院学生会・顧問
- ・米国・ミシガン大学工学部機械工学科/電気工学・コンピューターサイエンス科兼任准教授

**略歴** 1992年東京大学工学部精密工学科卒。1994年にスタンフォード大学材料科学部修士号、1998年に同大学Ph.D.取得。その後スタンフォード大学研究員を経て、2000年1月より、ミシガン大学助教授。現在の研究テーマは、生体・医療・環境分野の先端計測マイクロ・ナノデバイス開発と基礎研究。これらの研究分野で5つの米国特許取得と80本以上の論文・著書執筆。2001年米国科学財団(NSF) Early Faculty Career Development (CAREER)賞、2005年Robert Caddell 記念賞、2007年Pi Tau Sigma Outstanding Professor 賞受賞。

**講師からのメッセージ：**

「グローバル化」、この言葉は近年多くの分野で耳にします。世界はITや物流技術の発達により、ますますフラット化し、資本は次の有望なマーケットを狙い世界を駆け巡ります。こうした状況の中、国外の大学ではグローバル化の波を受け、人材の世界的流動が始まっています。これからの皆さんの将来のキャリアを考えたときに、世界で通用し、活躍する理系人材になるにはどうすれば良いでしょうか。その選択肢の一つとして、学生の皆さんに米国大学院留学をお勧めします。このセミナーは、私個人のスタンフォード大学留学の経験と、ミシガン大学で教鞭を執っている経験から、米国の大学院での学位取得と将来のキャリアパスなどをお話します。また学生の皆さんからの留学に関してのフランクな質問に対してもお答えします。

**問合せ：**

留学生センター・短期留学部門 野水 勉 (789-5405), email: [nomizu@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:nomizu@ecis.nagoya-u.ac.jp)

留学生センター・海外留学室 岩城・熊坂 (789-2196), email: [abroad@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:abroad@ecis.nagoya-u.ac.jp)

工学研究科・国際交流室 (789-3603), email: [o47251a@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:o47251a@cc.nagoya-u.ac.jp)